
東方想讓心

ニコウミ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

東方想讓心

【Nコード】

N6880Z

【作者名】

ニコウミ

【あらすじ】

多分、普通の一般人で有ろう鷹島和樹、通称カズは高校生と言う職業を終え「さあ、明日から自宅を護るぞ」と言う立場におかれていた

そんなクズ野郎にあるお仕事の紹介がきた

「ある家に住むだけの簡単な御仕事です」

「うさんくせEEEEEEEEEEEE」

そんな思いも笑い飛ばすかのように無理矢理契約してしまった和樹

のめのまえはまっくらになった

胡散臭いババア系美少女（笑）に言われるがまま着いていった先は
和樹にとって笑えない日常の始まりだった

プロローグ（前書き）

前書きと言つことで

作者は東方projectは一応プレイはしております

ただ二年前です（・・・）

この作品に最強やチートなどは敵のみに存在します

主人公は人にしたら少し強いくらいです

どのくらい強いかわねれば犬より強くて熊より弱いです

分かりづらい？

じゃあ子供より強くてボフサップより弱いです

つまりそう言つことです

東方projectの作品を書くのは初めてですが小説自体は初めてではないです

ではお楽しみください

プロローグ

「笑えよ、ベジータ…」

雪がパラパラと降り続く真冬の夜、ある青年が茶色の封筒を片手に公園のベンチに佇んでいた

「誰がベジータよ」

その青年の隣には同じくらいの年の女性が寒そうに手を擦りながらジト目で青年を睨む

その女性は普通過ぎる青年とは真逆に周りより数倍もかけ離れた美貌

つまりはかなりの美人だ

「メリー、凄く驚くかも知れないんだが聞いてくれ…実は」

「落ちたんですね、分かります」

「笑えよ、ベジータ」

「下等民族が…とでも言っただけなの？現実を見なさいよ」

「ちょっと七つくらいボール探してくる、探さないで」

メリーと呼ばれた女性は呆れたように溜め息をついた

そう、この青年はただいま就活中で色々な会社の入社試験を受け回ったが

「ええ……30件も落ちるとさすがに希望が見えなくて命がマツハなんだけど……」

この青年、どこにも受からないのだ

しかも今日受けたこのクリスマススイブが記念すべき30件目なのであるさ

まさにクルシミマスイブ

「ちなみにどんな会社受けたのよ？」

「刺身の上にタンポポを乗せる工場だ」

「あれはタンポポじゃないわよ……」

「え？マジで？俺、凄く元気にタンポポを乗せる作業なら負ける気がしませんとか叫んだんだけど……え？むっちゃ恥ずかしい……」

「て言うかそれ手作業じゃないわよ…」

「え？」

「馬鹿ね」

もはやなにも言えなくなった青年、和樹はそのまま横に倒れメリーの太ももに倒れる、所謂膝枕をいきなり断りもなくした和樹に対してメリーは溜め息をついた

「流石の貴方も落ち込んでるの？」

「ああ……」

頂垂れるように和樹は呟く

メリーはそんな和樹を慰めるかのように頭を撫でた

本来、和樹はこのように人に素直に甘えるのはかなり珍しい、幼馴染みと言う立場からメリーが見てもこんな和樹は滅多に見れないくらいだ

ここにメリーと言う女性がいなければ和樹は絶対に一人で落ち込んでいた

「それで、どうするのカズ？」

「今年は無理だな、来年の始めから仕事探すしかねえや」

「そう、まあ来年一月までに仕事が決まらなかったら私が雇ってあげるわよ」

そうメリーはクスクス笑いながら言った、確かにお嬢様なメリーなら使用人として一人くらい雇えるかも知れないが、それは男として幼馴染みに雇われるとかなんか情けない

「はいはいワロスワロス」

「プライドなんか犬にでも食わせなさい、そして私に膝まずいて靴を舐めなさい」

「お前に雇われた未来が想像出来るんだが、光が見えない」

「あら？私の使用人は明るい未来しかないわ」

そう言いながらメリーはクスクス笑った
そんなメリーに苦笑いをしながら幾分か気持ちが落ち着いたのが分かる

まったく何時になってもメリーに助けられてばかりだとつくづく自覚する、まだメリーに頼ってる自分が少し嫌になって、それでも頼っていた自分がいるのが分かる

和樹とは自分ながら思う弱い男なんだ、だからこそ今回はメリーに頼らずに立ち上がりたい
そう素直に思えた年だ

「どうして正一」

「あら？もういいの？」

「ああ、いきなり悪いな、もう大丈夫だと思う」

「そう、じゃあ」

そう言っつてメリーは携帯を和樹に見せる

画面には「クリスマス限定！ビックリドッキリワンダフルケーキ型ハンバーグ！！いまなら三千円だ！お得ッウウ！」と言っつ見出しに有り得ない形をしたハンバーグの写真

そしてヨダレが少し垂れた満面の笑みのメリーが不気味なオーラで和樹を見ている、否
睨んでいる

「奢りね」

「……………」

「あら？麗しき女性の太ももを貸してあげたのよ？見あつた代償でしよっ。」

ああそつだ、メリーとはこつ言っつ女なのだ

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6880z/>

東方想讓心

2011年12月23日02時45分発行